

## 地方ローカル線を守る市町民の会 鉄道の維持・発展を **知事に要請**



11月18日(金)、「地方ローカル線を守る市町民の会」、「ローカル線を守る盛岡の会」が、**鉄道の維持・発展を求める要請書**を岩手県知事に手渡ししました。これは本年2月に国交省が立ち上げた「検討会」が出した提言を受け、鉄道はもとより、地域公共交通自体が衰退するのでは、と危機感を抱いた沿岸や盛岡の市民・町民の皆さんが、「直接知事に声を届けたい」と岩手県交運労協と協力して取り組んだものです。

要請の中では市町民の会より、「**“赤字だから”と後ろ向きの議論をするのではなく、老朽化した鉄道の再構築を行い、定時性・速達性を高め、地域公共交通の活性化を目指して欲しい**」と述べられました。この要請に対し、知事は、「**地方鉄道は移動手段ということに加え、災害時の代替性・補完性や観光物流の地域経済を支える重要な社会基盤である。交通事業者の使命“安定的維持”に向けた議論を国に提言していきたい。**」と応じました。

今回岩手県知事への要請行動を行った市民・町民の会の皆さんは、東日本

大震災の後、JR 山田線の鉄路での早期復旧を目指して活動を続けてきた皆さんです。JR 東労組は、地域公共交通の維持・発展と地域活性化のため、あらゆる市民との連帯をつくりつつ、取り組みを進めていきます！



写真:支社分会 江刈肉友章